

グランドデザインレビュー

平成19年のグランドデザイン制定から電気学会を取り巻く社会環境には大きな変化が生じてきた。

電気工学が支える電気システムが現代社会の最重要基盤のひとつであることは、震災時の経験においても明らかであり、今後は更に電気工学の担い手である個人や法人によって構成される電気学会が、社会や会員にとって必要不可欠の存在であり続けるよう、会員メリットを向上しつつ、安全安心で豊かな社会の実現に貢献してゆく必要がある。

このことから、電気学会において、今後重点的に取り組む必要のある活動を明確にするため、平成26年7月25日理事会においてグランドデザインのレビューを行い、以下に示す「行動目標と重点的に行うべき4つの活動」を決定し、今後この方針に沿って事業を進めてゆくため個別のアクションプラン検討・実施を進め、以降の事業に随時反映することとした。

【行動目標】「会員に魅力ある場を提供する」

「豊かで安全安心な社会、持続的発展が可能な社会の実現に貢献する」

【重点的に行うべき4つの活動】

「電気学術の発展と国際化への貢献」

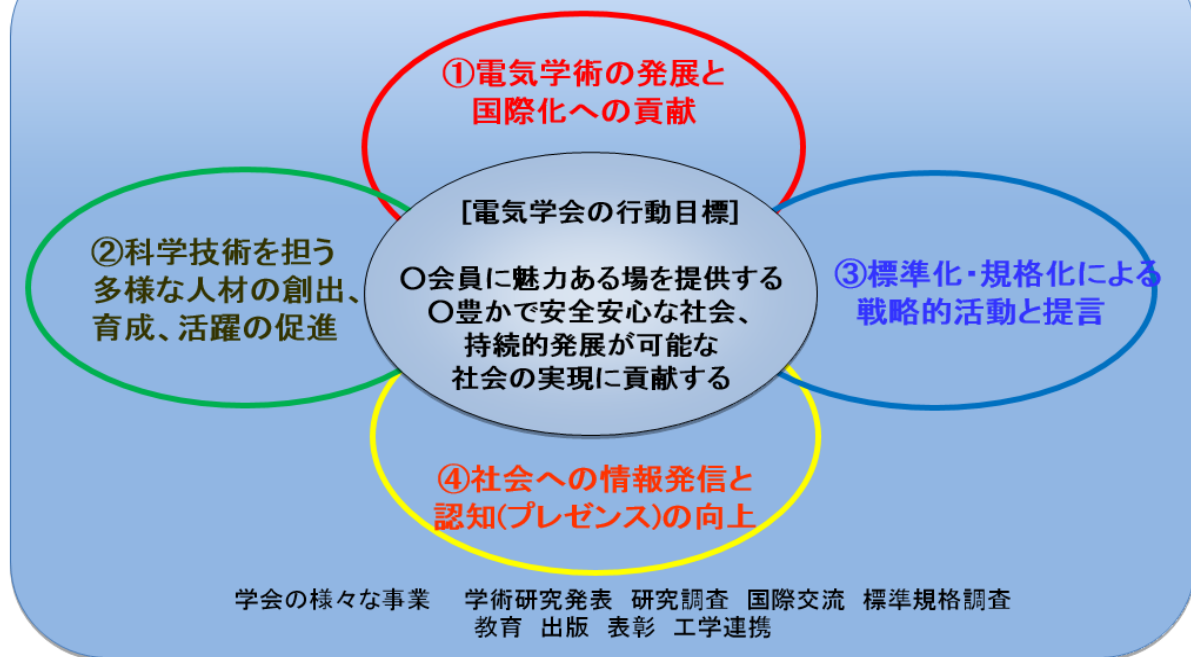
「科学技術を担う多様な人材の創出、育成、活躍の促進」

「標準化・規格化による戦略的活動と提言」

「社会への情報発信と認知(プレゼンス)の向上」

電気学会グランドデザイン

～学会の行動目標と重点的に行うべき4つの活動～



平成26年7月25日改正